



朝刊

発行所 熊本日新聞社  
〒860-8506 熊本市世安町172  
代表(096)361-3111  
©熊本日新聞社 2010



Yah! 公認サンタを弾ベルが直撃 11

先日やって来た公認サンタさん。多忙な熊本滞在中、なんと弾ベルの取材を受けてくれたぞ。「夢のある世の中に」って話していた。



# 夢ある世の中に

クリスマスを目前に控えた先週、北欧フィンランドから「政府公認」のサンタクロースが熊本にやって来た。多忙を極めるサンタは分刻みのハードスケジュール。なかなか接触できなかったものの、何とかインタビューに成功した。サンタから熊本の子どもたちへのメッセージ、預かってきたよ。(弾ベル)

サンタへの手紙が人口比で最も多く寄せられた都道府県を訪問する全国公募企画で来熊。日本・フィンランドサンタクロース協会(静岡市)と、世界中からサンタに届く手紙を受け付けるサンタクロース中央郵便局(フィンランド)が協力し、昨年スタートした。熊本からは約1万3千通(人口比約0.72%)寄せられたが、宮城県に次ぐ2位。だが、サンタに寄せられた数多くの熱烈なメッセージを「無にできない」(同協会)として、来熊が決まったんだって。そもそも、サンタってどんな人? 同協会によると、フィンランド・ラップランド州のロバニエッティンにある「サンタ村」で、妖精「トント」と一緒に暮らしているん

熊本市動植物園のイベントで子どもたちと握手するサンタクロース。どこでも大人気だった



児童福祉施設の子どもたちにプレゼントを渡すサンタクロース。中身は何だろうね?

## 「熊本の子どもたち 大好きです」

だとか。それ以上の個人情報「秘密」。リアリストの弾ベルだが、夢のある話。そこへんは納得しよう。17、18日に来熊したサンタは、養護学校や児童福祉施設、熊本市動植物園などを訪問。熊本城では熊本市への「プレゼント」として2万円寄付し「一口城主」になった。あざいす。

同市神水の慈愛園では、クリスマスパーティーで赤ん坊から高校生まで約60人の前に登場。「トナカイで空を飛んで来ました」などおどろかし、子どもたちにプレゼントを手渡した。「いつもプレゼントありがとう。体に気をつけているよだね。」  
「最も重要なのは、世界中の子どもたちがクリスマスを平和に楽しく過ごせること」とサンタさん。飢餓や戦争などで苦しむ子どもたちを心配しているようだ。

最後に、熊本の子どもたちへひと言。「あなたたちのことを心からいつも思っています。大好きです。メリークリスマス」。夢を運ぶサンタクロース。クリスマスの再訪、お待ちしておりますよ。



熊本城をバックに子どもたちと記念撮影するサンタクロース

### サンタは夢の中に

正直なところ、サンタクロースを信じたことはない。クリスマスプレゼントも、物心ついてからは毎年現金だった。夢のない話だけれど。ただ、大きくなって「サンタは絶対にいる」と信じる友人を見て、うらやましく感じた。来熊したサンタさんも「サンタは夢の中に住んでいる」と言った。サンタを信じられる、夢を見られる世の中って大事だ。弾ベルも夢を見たい。夢のあるプレゼント、待ってるよ。

次週は投稿特集。テーマは「ネバー・ギブ・アップ」。締め切りは25日。あきらめずに送ってはいよ。



弾ベル